

フォレポート 11・12・新年 1 月合併号

10.27(水)和歌山大学の講師を

3人で務めました。

和歌山大学の山崎由可里先生のお招きで、フォレスクール設立の立役者鈴木三喜先生と、室長榎本恵理さんと、会長出口幸三郎で「特別支援教育フォーラム」の講師として参加しました。田辺市のビッグUから、和歌山大学会場と新宮みくまの支援学校会場をネットでつなぎ、リアルタイムで学生だけでなく関係者、一般の方に「開設のあゆみと現在」との演題で聴いていただきました。各会場とも大勢の方が詰めかけているようで、県全体の意識の高さが感じられました。



11.5・6(金土)たなかの杜みんなで一泊旅行!



ダンスチーム フォレストフレンズ!

みんな楽しみにしていた、年

に一回の一泊旅行です。早朝から大型バスに乗り込み、三重名古屋方面へ出かけました。伊賀もくもくパークではソーセージやパン作り体験やバーベキュー、長嶋スパランドでは絶叫マシンなど、みんなおもいきり楽しんでいました。

11.7(日)「おもいきり福祉まつり」で 思いっきりダンス!

「元気に踊ろう!オー!」との掛け声で、今年も「第22回おもいきり福祉まつり」のステージに立ちました。天候の関係で一週間延期となったのですが、観客が多く、拍手や掛け声をいっぱいもらい、ハイテンションでみんな張り切って踊りました。

11.12(金)「わされんソフトボール大会」 で、かっ飛ばせー!

紀南地方の作業所対抗の戦いに「たなかの杜チーム」で悠々と挑みましたが、あっさり一回戦敗退でした。「ほかのチームの様に、もっともっと練習しなければだめだ。」とのみんなの意見でした。

11.18(木)クリスマスツリーのかざりつけ。 ~できればはいかが?~

毎年恒例のクリスマス会のツリーが、めでたく完成しました。よってたかってバラバラに飾り付けましたが、出来上がりは不思議な事に、うまくまとまりました。

11.25(木)白浜平原公園で散策。

運動不足解消に少し歩こうと、白浜温泉の気持ちのいい有名な公園へ、みんなで出かけました。疲れしました。

11.28(日)ゆうあいスポーツ大会に参加しました。

県下の福祉作業所が、和歌山市内のビッグホールへ集まる大きな体育大会です。各自頑張ったので、メダルをたくさんゲットできました。



今年は小さめですが、きれいに出来ました。



歩き疲れて、すこしグロッキー。



会場の広さに少しビビってます。

12・2(木)大阪堺市で会長講演!

「大阪にもフォレスクールを!」との思いで活動している「堺(松原)に学ぶ作業所をつくる会」から依頼されて伺いました。来年4月に「大阪発達支援センターぼぼろ」が中心となって「ぼぼろスクエア」と命名され設立するそうで、保護者を中心とした約40名の前で一時間程度「学ぶ作業所フォレスクール開設奮戦記」と題して、講演させて頂きました。つたない話ですがみなさん真剣に聴いて頂き、講演後のアンケートでも高評価で、「専攻科」の必要性を感じてくれていたので、ほっとしています。成功をお祈りします、有難うございました。

12.11(土)和歌山県下の支援学校集会でも発表しました。



お疲れ様、これから田辺へ帰ります!

の人で、ひしめいていました。フォレの出番は仲間の分科会での発表、周到に準備したので、順調に出来ました。お疲れ様でした。

1・23(日)「ふたば新春の集い」で元気にダンス。

ふたば福祉会グループ全体が、一堂に集まる年始の集会です。各施設から、趣向を凝らした演目が出されます。その中で毎年注目されるのが「たなかの杜フォレストフレンズ」のダンス。人数が多くてステージが狭いくらいでしたが、元気に気持ち良く踊っていました。



どこでもそうですが、大阪も女性が多かったです。

県下支援学校の校長教頭先生はじめ、PTA役員、教育・福祉関係者が一堂に参加される「社会参加と自立・理解推進会議講演会」に招かれ「フォレスクール開設～学校・地域を動かしたPTA活動～」と題して発表させて頂きました。持ち時間が少なく早口で聴きづらかったと思いますが、しっかり聴いて頂いたようでした、有難うございました。

12.12(日)全専研 滋賀大会に参加。

「さっぶ~!」車を降りて、紀南との気温差に驚きました。この大会にフォレメンバーは3年連続で参加、今年は滋賀県の近江八幡市でした。会場には全国各地からの大勢



「おどろらよ~!」って、田辺のよさこいです。

会長のひとりごと!

「学ぶ作業所をつくりませんか?」

「フォレ方式」「和歌山方式」と言われ、福祉施策で行う専攻科、いわゆる「学ぶ作業所」は、今年開所予定を含めて全国で8施設となりました。(私の知る限りで)和歌山県内では、フォレスクール(田辺市)結い(和歌山市)シャイン(岩出市)ラポルテ(有田市)ステップ(新宮市4月開設)、岡山県ではジョイスクール(倉敷市)、兵庫県ではエコール神戸(神戸市4月開所)、京都府ではるむ(京丹后市4月開所)そして、北海道ではチャレンジキャンパスさっぼろ(札幌市4月開所)。来年は大阪堺市にも。フォレが開設されてたったの3年でここまで広がり、そして今後まだまだ広がりそうな勢いです。3年前には考えられなかったすごい展開で、障がい者に「専攻科」の必要性を感じる方がこんなに多かった事に、たいへん驚いています。

しかし、専攻科は本来「教育施策」で、すべきものと思います。特別支援学校高等部が5年になり、その後「学ぶ作業所」に通うのがベストだと思います。過去には、福祉で行っていた事業を、行政が必要性を認めて教育の事業に変更させた事があるそうです。(和大山崎先生の教え)そこで、この学ぶ作業所が全国各地に林立すれば、いずれ行政も必要性を認め、本物の専攻科設置に、重い腰を上げるのではないかと思います。楽観かもしれませんが、今はそれ以外の決め手はないように思います。そして来年、再来年の高等部卒業生を救えるのは、今はこの方法だけだと思います。

「学ぶ作業所」をあなたの近くにもつくりませんか?大いに協力させて頂きます。ノウハウの伝授から保護者・関係者を燃え上がらせるために講演に呼んで下さい、全国どこへでも伺います。保護者の皆さん!親の子を思う気持ちは世界最強です。頑張りましょう!

紀南養護専攻科を考える会 会長 出口幸三郎